

	号外 昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	定価1部2円	18春闘方針確立！3月8日に人事課長交渉実施。継続課題の前進に向けて春闘に結集しよう。
		発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合	

2018春闘②

**賃金改善
超過勤務改善
欠員解消**
…122項目

春闘方針確立！

退職手当引下げ分の賃金回復が新たな課題

3月8日要求書提出・人事課長交渉へ

県職労は3月3日、第119回臨時大会を開催し、賃金・諸手当改善（特にも退職手当引下げ分の賃金回復）、欠員解消、超過勤務課題（手当の適正支給・勤務時間管理の徹底等）をはじめ、独自要求の取り組みなどの春闘闘争方針を決定した。

2018春闘の最大の柱は、今年4月から退職手当が約70万円余引下げになることに伴う賃金回復だ。1月の地公共闘交渉では、当局に課題意識を持たせたものの、詳細は各任命権者の交渉で継続課題とした。春闘期で中高年齢層職員の実感できる改善策を求めていく。さらに、4月の人員体制も喫緊の課題だ。当局は2月5日に来年度の組織体制の概略を示されたが、具体的な人員確保の見通しが示されていない。来年度に向けた欠員解消、業務に見合う人員確保も春闘交渉では重要な課題となる。

～主な2018春闘要求項目～

- 賃金…13,000円以上の賃金改善要求とし、「給与制度の総合的見直し」による現給保障は対象者がなくなるまでの制度維持、勤務意欲が持てる賃金改善を求める。
- 諸手当…通勤の自己負担解消・超過手当の全額支給
- 勤務意欲策…退職手当引下げ相当分の賃金回復を含めた勤務意欲確保策の提示
- 人員確保…欠員解消と業務実態を踏まえた人員拡充、任期付職員の任期の定めのない職員の選考採用枠の拡大
- 職場改善…超過勤務予算の適正配分、業務量の縮減、勤務時間管理の徹底 など

交通用具利用の距離区分新設、住居手当などの諸手当改善は春闘からの要求が重要となるほか、人事異動時期も間近であり、異動先の住居確保も重要課題だ。これら組合員の切実な要望を「2018春闘統一要求書」として確認。3月8日に提出し、人事課長交渉で当局見解を求める。要求前進と労働条件の改善をめざし、2018春闘に全力で取り組む。

第119回臨時大会 代議員の発言で方針補強！

3月3日の臨時大会では多くの代議員から職場実態を踏まえた発言で方針が補強され、春闘方針が確立しました。主な発言は次のとおり。

【盛岡支部】・獣医師など専門職種の欠員解消が不可欠。獣医師は応募しても来ない。厳しい人員体制

では、休みたくても休めない。早急な対策を当局に求めるべき。

【気仙支部】・任期付職員の任期の定めのない選考採用の拡大はもとより、任期の定めのない職員の選考採用に合格できず、改めて任期付職員となった職員をはじめ、任期付職員の任期満了後の今後の処遇の在り方が不安。一層の対策を当局に求めるべき。

・大船渡水産振興センターでは現在2人の欠員。今後、定数減等も懸念され一層厳しい事態に。人員確保対策はしっかり取り組んでいただきたい。

【宮古支部】異動内示時期が遅いと民間賃貸住宅の確保が一層困難。早期内示に向け交渉強化を。

【釜石支部】先般の沿岸部の暴風雪警報等の災害対応時にも超過勤務が全額支給されていない状況。超勤手当の全額支給を交渉で求めて欲しい。

【県庁支部】環境生活部では超勤予算の追加配分ができないとし、現予算の範囲内での執行を求められている状況。12月補正で増額したとしているが、超勤予算が行き届くよう交渉で追及すべき。

3.4 投開票・奥州市議選結果

佐藤いくお 激戦制し上位当選!



決意表明する佐藤いくおさん

3月4日、奥州市議選の投開票が行われ、県職労が推薦した『佐藤いくお』(70歳・現2期、自治労県本部組織内候補(旧江刺市職労出身))さんが2,912票を獲得し、見事2位当選を果たした。各組合員のご協力に感謝する。上位当選を果たした佐藤いくおさんは「人口減少に歯止めをかけ、地域交通の確立、安心して暮らせる福祉・産業・雇用の確保に努めていく」と決意を述べた。今後の活躍に期待する。

久慈市長選・宮古市議選の勝利につなげよう

3月・久慈市長選『遠藤じょうじ』 4月・宮古市議選『竹花くにひこ』 支持浸透を

県職労は、3月11日告示・18日投開票の久慈市長選において、「**遠藤 譲一(じょうじ)**」(64歳、現1期・無所属)さんの推薦を決定しました。遠藤さんは、元組合員で、県退職者会久慈支部長を務めており、医療・福祉の充実、地域交通の確保、平和行政・労働者行政の推進を公約に掲げています。

さらに、4月15日告示・22日投開票の宮古市議選では「**竹花 邦彦(くにひこ)**」(66歳、現5期・社民党公認・自治労組織内議員)さんを推薦決定しています。「震災復興後のだれもが住みやすく安心して暮らせる町づくり」

「平和で安心な暮らしの実現と格差のない社会づくり」などを政策に柱に掲げています。生活者・労働者の声を議会に届け、真の地方自治実現のためにも、組合員はもとより、家族、友人・知人への支持拡大をお願いする。



遠藤 じょうじ さん



竹花 くにひこ さん